

青森県教育委員会第793回定例会会議録

期 日 平成27年2月4日（水）

場 所 教育庁教育委員会室

議事目録

そ の 他 職員の懲戒処分の状況

平成27年2月4日（水）

- ・開会 午後1時30分
- ・閉会 午後1時38分
- ・出席者の氏名
豊川好司、町田直子、中沢洋子、野澤正樹、杉澤廉晴、中村充（教育長）
- ・説明のために出席した者の職
佐藤理事、奈良教育次長、教育政策・職員福利・学校教育・教職員・学校施設・生涯学習・スポーツ健康各課長、高等学校教育改革推進室長
- ・会議録署名委員
中沢委員、杉澤委員
- ・書記
外崎学、村上健

会 議

議 事

その他 職員の懲戒処分の状況

(田村教職員課長)

教育委員会が1月に行った職員に対する懲戒処分のうち、社会的影響が大きな事案であり、処分後速やかに公表を行った事案1についてご説明する。

既に報道されているものであるが、東青地域の高等学校教諭が京都府迷惑行為防止条例違反容疑で逮捕され、その後、同条例違反及び児童買春・児童ポルノ禁止法違反の容疑で再逮捕されたもので、当該職員に対し免職の懲戒処分を行ったものである。

(中村教育長)

教職員の服務規律の確保については、これまでも再三にわたり、指導の徹底を図ってきたが、今回、このような不祥事が発生したことから、県立学校及び市町村教育委員会に対し、服務規律の確保を徹底するよう通知し、公務員としての使命感や責任感について自覚を促す指導の徹底を図るようお願いした。

今後とも、関係機関と連携し、教職員の服務規律の厳正な確保に取り組み、学校と一丸となって、信頼される学校づくりに努めるとともに、教職員一人一人が自覚を持って、服務規律の確保に努めるよう、引き続きあらゆる機会を通して指導の徹底を図って参りたい。

(豊川委員長)

本件は、教育委員会としてあってはならない忌まわしい事件だと思っている。委員の皆さんからご意見、ご質問はないか。

(野澤委員)

このような事件は、一般市民から見れば、本人、学校、そして教育委員会が同じ目線で見られることになる。だから、紀律、規範は徹底していかなくてはならない。また、学校管理者の発言が、言葉の端をとられて、非常に誤解を受けるような記事になるというケースもあるので、学校経営者、責任者としての物の申し方には十分気をつけるよう、より一層厳しく指導していただきたい。

(町田委員)

今後徹底した指導をしていくということであるが、そういった指導や通知に対し、学校側から改善状況とか、対処法などをフィードバックすることはあるのか。

(中村教育長)

どういった指導をしていくかということについては、校長先生方と会議を通じて確認をしたり、取組状況をお聞かせいただいたりしている。

(中沢委員)

徹底するという言葉だけでは、何を徹底していくのかということもあるので、例えば、職員会議の場で話すとか、修学旅行に行く前にもう一度言うとか、部活の遠征に行く前に話すとか、具体的な対策を考えてほしい。

(中村教育長)

服務規律の確保ということで、指導資料というものも作ってお渡ししている。また、一人一人の教員がチェックできるようなチェックリストも付けているので、それも活用していただいている。また、報道等があった時には、校長先生の方からその都度、その例を引いてお話しをしていると聞いているが、こういったことが起きたというのは非常に残念である。

(豊川委員長)

今までもしっかりやってきていると思うが、打つ手がないということではなく、二度と起こらないようにどうにかしていかなければならないと思っている。しっかりと指導してください。

他に何かご意見、ご質問はあるか。なければ、懲戒処分の状況については了解した。